

WBT コースカタログ 表示ガイド

Version 2.0

2003.03.31

先進学習基盤協議会
WBT コース表示項目検討委員会

目次

1. はじめに	1
2. 目的	1
3. WBT コース表示項目の構成	2
4. 当面の活用のイメージ	2
5. 今後の活用のイメージ	2
6. 注意点	3
7. WBT コース表示項目の記入要領	6
7. 1 コース基本情報	6
7. 2 学習環境情報	7
7. 3 サービス基本情報	8
7. 4 コンテンツ情報	10
7. 5 学習者サービス情報	12
8. 最後に	13

<改訂履歴>

本ガイドブックは 2001 年度に先進学習基盤協議会コンテンツ部会の e-Learning 評価項目検討ワーキンググループ(WG)にて作成した「WBT コースカタログ表示ガイド Version 1.0」をもとに、2002 年度に WBT コース表示項目検討委員会で検討を加えて改訂版として公開するものです。

先進学習基盤協議会 コンテンツ部会 e-Learning 評価項目検討 WG(2001 年度)

<執筆者>

新目 真紀	(株式会社ケアブレインズ)
古賀 暁彦	(学校法人産業能率大学)
鈴木 あゆみ	(エヌ・ティ・ティ・ソフトウェア株式会社)
高岡 良行	(東光精機株式会社)
森嶋 美和子	(富士通オフィス機器株式会社)
山形 優子	(株式会社テプコシステムズ)

WBT コース表示項目検討委員会(2002 年度)

<主査>

根本 孝	(明治大学)
------	--------

<委員>

安達 知子	(株式会社日立インフォメーションアカデミー)
北村 士朗	(株式会社東京海上ヒューマン・リソース・アカデミー)
金沢 澄雄	(財団法人社会通信教育協会)
古賀 暁彦	(学校法人産業能率大学)
高岡 良行	(東光精機株式会社)
宗重 隆	(学校法人河合塾)
宮澤 修二	(株式会社アイテック)
山内 一郎	(財団法人社会通信教育協会)
渡邊 岳彦	(NTT コムウェア株式会社)

1．はじめに

(1)背景

WBT コースのパンフレットや Web カタログを作成する際、WBT コースを導入しようとしている企業内教育担当者、あるいは受講を検討している学習者に対して、どのような内容を記載したらよいのかわからないことはありませんか？

先進学習基盤協議会(ALIC)コンテンツ部会 e-Learning 評価項目検討ワーキンググループ(以下 WG)では「ユーザが WBT コースを選択しやすい環境をつくる」ため「WBT コースカタログ表示ガイド」を作成することになりました。

ガイド作成にあたっては、各社の WBT コースのパンフレットや Web での説明から頻出する表示項目と表示の仕方をチェックし、最大公約数としての「WBT コース表示項目」を作成しました。この「WBT コース表示項目」に基づき表示の内容を解説したのがこの「WBT コースカタログ表示ガイド」です。

(2)「評価」or「表示」

当初 WG では、ユーザが良質な WBT コースを選択できるための評価基準が必要だという考えから出発しました。しかし、コースの良し悪しを問うと、評価者や評価基準をつくる人の主観(学習に関する考え方、Web ユーザビリティに対しての思想)が入ってしまい客観的な基準の合意形成に時間がかかってしまいます。また、現在の日本では「良し悪し」を問うほどコースが充実しておりません。そこで「評価」するのではなく最大公約数としての「WBT コース表示項目」をリストアップし、提供者側がそれらを明示することが e ラーニング導入や受講の推進につながるのではないかという声があがり、「WBT 表示項目」についてのガイドを検討することになりました。

従って今回のガイドは、ユーザが WBT コースを選択する最初の段階で必要な情報と思われる項目(や機能の有無)のみを対象にしています。WBT コースあるいは提供者側の商業ベースの記述(セールスポイント等)は、各社ホームページ等にてお願いいたします。

最終的な善し悪しを判断するための情報の表示でないということをご理解願います。

2．目的

(1)対象(ユーザ)

学習者と企業の教育担当者 WBT コースの受講(導入)を検討している人

(2)目的

WBT コースの受講(導入)の選択に際し、上記ユーザに必要最低限提示すべき最大公約数としての表示項目をリストアップし、その記載内容をガイドにまとめることで、ユーザの WBT コース選択時の意思決定を支援する。

3．WBT コース表示項目の構成

全体で49の表示項目から構成されます。これらの表示項目は「学習環境情報」、「サービス基本情報」、「コンテンツ情報」、「学習者サービス情報」の4つに大別されます。

(0)コース基本情報

この分類には当該 WBT コースの基本となる、コース名、提供会社名等の情報が含まれます。

(1)学習環境情報

この分類には当該 WBT コースを受講する上で必要となるパソコンのスペック(ハード、OS、ソフト)と通信環境についての11項目が含まれます。

(2)サービス基本情報

この分類には当該 WBT コースを受講する際の申し込み単位、受講料、学習者管理機能の有無等、学習サービスの基本情報についての14項目が含まれます。

(3)コンテンツ情報

この分類には当該 WBT コースの期間、学習内容、対象者、学習方法、学習メディアなどについての15項目が含まれます。

(4)学習者サービス情報

この分類には学習内容に関する質問の受け付け、メンタリング、ヘルプデスク等サービスについての9項目が含まれます。

各表示項目の説明については「7．WBT コース表示項目の記入要領」を、また表示項目の一覧については別紙「WBT コース表示項目一覧」を参照してください。

4．当面の活用のイメージ

当面は、皆様の会社で提供する WBT コースのカタログや Web サイトを作成される際に、この表示項目に盛り込まれている内容を参考にいただければ幸いです。

なお項目数は一見多く見えますが、複数のコースに共通している項目が大半です。従って1コース記入すれば、以後のコースの記入項目は8～15項目程度で済みます。

5．今後の活用のイメージ

今後、ALIC では以下のような活用イメージを検討していきます。

(1)WBT コース検索サイトの提供

各社の WBT コースが表示項目の条件で検索可能な Web サイトの構築と提供。

(a)ジャンル、キーワード等で大まかな検索ができる

(b)上記条件に合致するコースを一覧表示できる

(c)一覧の中からさらに細かい条件で絞り込み検索ができる

(d)コースの詳細の表示ができる

といった利用を想定しております。

(2) WBT コース登録ツールの提供

上記検索を可能とするため、教育事業者用の登録機能の開発と提供。

(a) クライアント PC や Web 上での WBT 表示項目登録ツール

(b) 標準データ形式ファイルを一括して入力できる

(c) コース共通情報を一括して入力できる 等

を検討していきます。

6 . 注意点

本冊子とあわせて作成したユーザ向け冊子「WBT コースカタログ読み方ガイド」では、本表示項目に従って WBT コースの内容をチェックする際の注意点として、以下の4つをあげています。本注意点に留意した上で、ユーザがより安心してサービスを選択できる様、ご記入いただければと思います。

< 「WBT コースカタログ読み方ガイド」より抜粋 >

(1) 機能がたくさんついているコースがいいコースとは限らない

学習機能がたくさんついているコースであっても、自分(自組織)の学習にとって必要のないものであればあっても無駄です。「〇〇機能あり」の数が一番多いコースがいいコースではありません。まずはご自身が必要だと思われる学習機能が何なのかを明確にした上で検索するよう心がけてください。

そこで、この冊子では「この機能が有るとこんな学習が可能」あるいは「この機能がない場合、こういったことができません」といった項目の「意味」をできるだけ解説するようにしております。

(2) 使える環境がなければ学習はできない

最初にチェックしていただきたいのは「学習環境」です。いくら良いコースでもパソコンのスペックやネットワーク環境によって学習できないものがあります。「学習環境」に制約条件がある場合、ジャンルやキーワードで検索した後かならず学習環境をチェックしてください。

(3) コンテンツだけでなくサービスにも注意を払う

本ガイドラインでは『コース=コンテンツ(=教材)+サービス』としてとらえています。単に Web 上のコンテンツだけでなく、質問対応等の学習者サービス情報、申し込み方法や学習管理等に関してのサービス基本情報にも注意を払いましょう。従来の公開セミナーや通信教育と異なり、WBT では様々なサービスレベルが設定可能です。自分(自組織)が必要とするサービスレベルを想定した後、チェックすることをお勧めします。

(4) 価格の表示について

今回のガイドラインは 1 人あたりの受講料(個人料金)、もしくは団体料金での表示ができるようにしております。ただし、今後様々な e ラーニングコースの価格モデルが出てくることが予想されますので、表示方法についても柔軟に対応していきたいと思います。

<WBT コース表示項目 見本>

コース基本情報

コース名	
会社名	× × × × × × × ×
担当部署	
問い合わせ	03-xxxx-xxxx
URL	http://www.xxxx.com/
提供モデル	ASP
(備考欄)	

(1) 学習環境情報

PCスペック		
1	ハードウェア制限	Pentium以降
2	ディスク容量	10MB以上の空き容量
3	画面解像度	最低 800*600Pic以上 推奨 800*600Pic以上
4	CD-ROM	不要
5	OS	<input checked="" type="checkbox"/> Win95 <input checked="" type="checkbox"/> Win98 <input checked="" type="checkbox"/> Win98SE <input checked="" type="checkbox"/> Win Me <input checked="" type="checkbox"/> Win NT <input checked="" type="checkbox"/> Win2000 <input type="checkbox"/> Win XP <input type="checkbox"/> Mac7.x <input type="checkbox"/> Mac8.x <input type="checkbox"/> Mac9.x <input type="checkbox"/> MacX <input checked="" type="checkbox"/> その他(備考欄)
6	ブラウザバージョン	対応 IE4.01sp2 推奨 IE5.5sp1以上
7	Cookieの利用	要
8	必要なソフトウェア (プラグインソフト含む)	IE4.01sp2

通信環境

9	通信速度	最低 56Kbps以上 推奨 64Kbps以上
10	メールアドレス	要
11	学習環境情報...備考欄	WinXPは調査中です。JAVASクリプトを利用します

(2) サービス基本情報

申込方法		
12	申込単位	法人のみ
料金		
13	受講料(コース料金)	個人料金(円) 15750
	消費税込	団体料金(人当り円)
14	オプション料金	あり
15	キャンセル時の規定	あり
16	支払い方法	<input type="checkbox"/> 個人払い <input checked="" type="checkbox"/> 法人一括払い <input type="checkbox"/> その他(備考欄)
17	料金...備考欄	

学習者管理

18	管理機能の有無	あり
19	学習者への連絡機能	あり
20	プライバシーポリシー	あり
21	SSL対応	対応のみ
22	修了判定の有無	あり
23	修了証書の有無	あり(データファイル)
24	公的援助,認定	なし

25	サービス基本情報...備考欄	オプションおよびサービス料金に関しては上記までお問合せください
----	----------------	---------------------------------

(3) コンテンツ情報

基本情報

26	開発元	× × × × × ×
27	制作改定年月	制作年月 200004 改定年月 200312

期間情報

28	延べ学習時間/標準学習時	15時間
29	在籍期間	4ヶ月
30	期間情報...備考欄	

テーマと対象

31	ジャンル(企業内教育)	<input checked="" type="checkbox"/> 階層別教育/マネジメント <input type="checkbox"/> 計数/経理/財務 <input type="checkbox"/> 営業/販売/マーケティング/サービス <input type="checkbox"/> 技術/生産/製造/開発/品質/ISO <input checked="" type="checkbox"/> ビジネススキル/ビジネス知識 <input type="checkbox"/> その他
	ジャンル(学校教育)	<input type="checkbox"/> 階層別教育/初等・中等・高等 <input type="checkbox"/> 教科教育 <input type="checkbox"/> 専門教育 <input type="checkbox"/> その他
	ジャンル(共通)	<input type="checkbox"/> 語学/国際業務 <input type="checkbox"/> 趣味教養 <input type="checkbox"/> IT/OA/コンピュータ <input type="checkbox"/> 資格/検定 <input type="checkbox"/> その他
32	対象とする階層、職種、業種	
33	受講前提	特定しない
	ありの場合	

学習内容

34	概要 (学習目標/ねらい/章立て等)	今日の経営戦略について、その全体像と一般的な課題を確認するとともに、自社の戦略を理解するために必要なポイントを理解します。
35	学習内容詳細の参照 先の有無	あり
	参照先URL	http://www.xxxx.com/
36	試用版の有無	なし
	提供方法や 試用範囲	

学習メディア・学習方法

37	学習メディア	標準 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン教材 <input type="checkbox"/> スクリーニング <input type="checkbox"/> 紙テキスト <input checked="" type="checkbox"/> CD-ROM/DVD等メディア <input type="checkbox"/> その他の教材 オプション <input type="checkbox"/> オンライン教材 <input type="checkbox"/> スクリーニング <input type="checkbox"/> 紙テキスト <input type="checkbox"/> CD-ROM/DVD等メディア <input type="checkbox"/> その他の教材 その他の教材
38	準拠している標準規格	なし
	規格とVer.	
	動作確認済みLMS	
39	学習方法	動画ストリーミング 音声 その他

40	コンテンツ情報...備考欄	1日あたりの標準学習時間は約15分～20分を想定しております
----	---------------	--------------------------------

(4) 学習者サービス情報

学習内容に関する質問受付

41	有無	あり
42	内容	標準で5回まで受講料に含まれています

メンタリングサービス(学習動機付け)

43	有無	あり
44	内容	学習進捗にあわせたチャリングメール、アラームメールを配信し

ヘルプデスク(操作方法等の質問受付)

45	有無	あり
46	内容	電話でのお問合せ12:00～20:00 火曜日、土曜日、祝祭日および年末年始の特定日を除く毎日(Web、e-mailは随時受付)

その他学習者サービス

47	掲示板	オプションであり
48	受講(修了)後アフタケア等	なし

49	学習者サービス情報...備考欄	
----	-----------------	--

7 . WBT コース表示項目の記入要領

7 . 1 コース基本情報

ここには対象コースの基本情報について記入してください。

コース名

対象コースの名称を記入してください。

このとき 1 つのコースの中で複数の選択がある場合は、それぞれ別のコースとして登録してください。(例 : MS Word 入門で 2000 と XP それぞれのバージョンがある場合などは、別のコースとして記入します)

会社名

会社名を記入してください。

ASP でのコースウェア提供の場合は提供元を記入し、コンテンツの開発元が別にある場合はコンテンツ情報の「2 6 . 開発元」に開発元名を記入してください。

担当部署

担当部署、問い合わせ窓口を記入してください。開示する連絡先情報の種類は任意です。

問い合わせ先

上記の電話番号、FAX 番号、メールアドレス等、連絡先を記入してください。

URL

コンテンツ(=教材)やサービスなど対象コースの詳細を説明している Web サイトの URL を記入してください。

提供モデル

対象コースの提供方法を「ASP (フルオンライン)」、「ASP (オンライン・オフライン)」、「イントラネット」、「その他」から選択してください。

ASP で提供するサービスのうち、学習者がインターネットに接続したまま学習する必要がある場合は「ASP (フルオンライン)」を選択してください。コンテンツのダウンロードや CD-ROM 等の併用により、インターネットの接続を切った状態でも学習できる場合は「ASP (オンライン・オフライン)」を選択してください。企業や学校が自組織のイントラネット内に構築した WBT プラットフォームにコンテンツをインストールして利用するコースの場合は「イントラネット」を選択してください。ASP、イントラネット双方で提供している場合、提供方法に制限がある場合などは「その他」を選択し備考欄にその内容を記入してください。

備考欄

コース基本情報の補足説明を記入してください。

7.2 学習環境情報

この分類には当該 WBT コースを学習する際に必要となる学習者のパソコンのスペック(ハード、OS、ソフト)と通信環境について、動作保証できる学習環境を定義してください。

表示項目以外に必要な環境、あるいはあると更に効果的となる学習環境や、特別な仕様等は「11. 学習環境情報…備考欄」に記入してください。

(1)PC スペック

1. ハードウェア制限

コンテンツが動作するために必要な最低限の CPU、メモリ等、ハードウェアに関して制限がある場合は記入してください 例)PentiumIII 800MHz 以上、メモリ 128MB 以上

2. ディスク容量

必要とされるハードディスク容量を記入してください。参考資料や学習履歴など、ハードディスクに保存するファイルの内容を 11. に記入してください。特に必要のない場合は、「不問」と記入してください。 例)空き容量 30MB 以上

3. 画面解像度

対象コースを Web ブラウザで表示する場合に必要な、最低限の画面解像度を選択肢の中から選んでください。画面解像度に制限、制約のないコンテンツの場合は「指定なし」を選択してください。

4. CD-ROM

学習時に CD-ROM ドライブを利用するか否かを「要 (インストール時のみ)」、「要 (学習時のみ)」、「要 (インストール及び学習時)」、「不要」、「推奨」から選択してください。利用しなくとも学習は可能でも、利用すれば更に効果的である場合は「推奨」を選択してください。

5. OS

学習可能な OS を全て選択してください。選択肢以外の OS をサポートしている場合は「その他」を選択し 11. にその内容を記入してください。

6. ブラウザバージョン

「対応」には、動作確認されている Web ブラウザのバージョンを、「推奨」には、十分な学習効果を得るために推奨する Web ブラウザのバージョンを記入してください。また一般的に利用されていない専用の Web ブラウザを使用する場合はブラウザ名を記入した上で「専用ブラウザ使用」と明記してください。

動作しないことが確認されている Web ブラウザやバージョンがある場合も備考欄に記入すると良いでしょう。

例)Internet Explorer 4.01 sp2 以上、Netscape Navigator 4.7

7. Cookie の利用

学習(特に演習問題)を進める上で Cookie の設定が必要な場合は「要」を選択してください。パスワード保存など、利用しなくても学習が可能な場合は「不要」を選択してください。

8. 必要なソフトウェア(プラグインソフトを含む)

学習時に必要となるプラグイン、アプリケーション等のソフトウェアを全て記入してください。特にバージョンを指定する必要がある場合はそのバージョンも記入してください。

(2)通信環境

9. 通信速度

「最低」には、学習効果が妨げられない程度に最低限必要な通信速度を選択してください。

「推奨」には、十分な学習効果を得るために必要な通信速度を選択してください。

ブロードバンド環境など広帯域の通信速度が必要な場合は、「ストリーミング使用のため」等、その通信速度が必要な理由を備考欄に記入してください。

10. メールアドレス

学習者からの学習内容に関する質問やレポートの提出、学習者への質問の回答や連絡など、学習者ごとのメールアドレスが必要か否かを「要」、「不要」、「推奨」から選択してください。学習は可能でも、メールアドレスがあれば更に効果的あるいは便利である場合は「推奨」を選択してください。

学習者にファイルの添付されたメールや HTML メールを送付する場合、フリーメールアドレスを禁止する場合、などの特記事項は11. に記入してください。

(3)備考

11. 学習環境情報…備考欄

1. ～10. の項目の補足説明、詳細情報の Web サイトの URL、問い合わせ窓口の連絡先等を記入してください。

7.3 サービス基本情報

この分類には申し込み単位、受講料、学習者管理機能の有無など、学習サービスの基本情報について定義してください。

表示項目以外の特別なサービスや制度等は「25. サービス基本情報…備考欄」に記入してください。

(1)申込方法

12. 申込単位

受講の受け付けが可能な単位を「個人のみ」、「法人のみ」、「個人・法人双方可」から選択してください。その他申し込み区分などの特記事項は17. に記入してください。

(2)料金

13. 受講料(コース料金)

消費税込みの基本受講料金を記入してください。個人ごとの料金設定がある場合は「個人料金」に、〇〇人まで××円等の料金設定がある場合は、その最低ロットと料金を「団体料金」に、その他のロット及び料金は17. に記入してください。個人、団体双方の料金設定

がある場合は、両方とも記入してください。

14． オプション料金

追加サービスなどオプションを選択した際に、上記受講料以外に必要な料金がある場合は「あり」を選択し、その内容を17．に記入してください。

15． キャンセル時の規定

受講申し込み後にキャンセルした場合の場合の規定や、返金に関する取り決めがある場合は「あり」を選択し、その内容を17．に記入してください。

16． 支払い方法

受講料金の支払方法を「個人払い」、「法人一括払い」、「その他」から全て選択してください。「その他」を選択した場合や追加事項は17．に記入してください。

17． 料金...備考欄

12．～16．の項目補足説明、詳細情報の Web サイトの URL、問い合わせ窓口の連絡先等を記入してください。

(3)学習者管理

18． 管理機能の有無

学習進捗やテスト結果の閲覧や出力など、教育担当者用の学習者管理機能の有無を選択してください。「あり」を選択した場合は、学習進捗やテスト結果などの管理している項目、教育担当者への管理項目の提示方法などを25．に記入してください。

19． 学習者への連絡機能

受講者への一斉送信メールや TOP ページでのお知らせ欄など、学習者への連絡機能の有無を選択してください。「あり」を選択した場合は、学習者への連絡方法やその内容の作成方法など、管理者が行なう具体的な作業内容を25．に記入してください。

20． プライバシーポリシー

プライバシーマークの取得など、個人情報保護に対する組織的な取り組みの有無を選択してください。プライバシーポリシーを明示している Web サイトの URL やその内容等、詳細については備考欄に記入してください。

21． SSL 対応

SSL 対応の有無を「対応のみ」、「非対応のみ」、「選択可能」から選択してください。

22． 修了判定の有無

対象コースの修了判定の有無を選択してください。修了判定の方法については備考欄に記入してください。

23． 修了証書の有無

22．で「あり」を選択した場合は、修了証書の発行の有無と発行形態を、「あり(データファイル)」、「あり(紙)」、「なし」から選択してください。

24． 公的援助、認定

公的援助や、認定制度の有無を選択してください。「あり」を選択した場合は、職業訓練給付金制度等の対応している具体的な制度の名称を25．に記入してください。

(4)備考欄

25. サービス基本情報…備考欄

18. ～24. の項目の補足説明、詳細情報の Web サイトの URL、問い合わせ窓口の連絡先等を記入してください。

7.4 コンテンツ情報

この分類にはコンテンツ情報を定義します。学習期間、ジャンル、受講対象、学習方法、学習メディア等、ユーザがコースを選定する上での判断基準となりますので、具体的に定義してください。表示項目以外に特記事項がある場合は「40. コンテンツ情報…備考欄」に記入してください。

(1)期間情報

26. 開発元

コンテンツの開発元を記入してください。

27. 制作改訂年月

コースの最初のリリース年月、および改訂を実施した年月を yyyymm の形式で記入してください。

(2)期間情報

28. 延べ学習時間/標準学習時間

連続して受講した場合の延べ学習時間を、「○時間」の様に期間と単位で記入してください。

おおよそのコースの分量が把握でき、どのぐらいの時間で学習が修了するのかの目安となるように、オフライン教材を含む場合は、オンライン、オフラインそれぞれの学習時間に分けて記入してください。

29. 在籍期間

対象コースを受講可能な在籍期間を、「○週間」や「×ヶ月」の様に期間と単位で記入してください。その他期間に関する情報は30. に記入してください。

30. 期間情報…備考

28. ～29. の項目の補足説明、詳細情報の Web サイトの URL、問い合わせ窓口の連絡先等を記入してください。また受講できる時間帯や、標準的な学習期間等はここに記入してください。

(3)テーマと対象

31. ジャンル

「企業内教育」、「学校教育」、「共通」の3つのジャンルに大別されています。対象コースが属している分野を、3つ以内を目処に選択してください。

また、教員、講師向けのコースは「学校教育」に分類してください。

32. 対象とする階層、職種、業種

受講対象となる人の階層(経営者、管理者、新人・内定者)、職種(人事スタッフ、営業パー

ソン、〇〇技術者等)、業種(金融業、飲食業等)、年齢等、属性を具体的に記入してください。

3 3 . 受講前提

受講の前提条件がある場合は「あり」を選択し、受講するにあたって必要な知識、スキル、熟達レベル(初級、〇〇資格 1 級等)等、前提条件を記入してください。

「〇〇コース修了」、「〇×ができない人」といった具体的な表記も可能です。

(4)学習内容

3 4 . 概要(学習目標/ねらい/章立て等)

学習目標やねらい、学習の流れがわかるような章・節・項などの学習フローやコース体系等、学習者が対象コースの概要を確認できる内容を記入してください。

3 5 . 学習内容詳細の参照先の有無

3 4 . の詳細や、関連コース、著者、発効日等、学習内容に関する詳細情報についての参照先 Web サイトがある場合は「あり」を選択し、参照先 URL を記入してください。

3 6 . 試用版の有無

学習環境や学習内容の確認用の試用版 CD-ROM やサイトがある場合は「あり」を選択し、提供方法や試用できる内容、範囲等を記入してください。

(5)学習メディア・学習方法

3 7 . 学習メディア

対象コースを構成する学習メディアを、「オンライン教材」、「スクーリング」、「紙テキスト」、「CD-ROM、DVD 等メディア」、「その他の教材」から全て選択してください。この際、基本受講料で提供するものは「標準」に、ユーザの選択によるオプション料金で提供するものは「オプション」から、それぞれ選択してください。また、「その他の教材」を選択した場合は、その学習メディアも記入してください。

3 8 . 準拠している標準規格

コース基本情報の「提供モデル」で「イントラネット」を選択したコンテンツで、準拠している標準規格がある場合は「あり(規格と Ver.)」を選択し、準拠している標準規格名とバージョン、動作確認しているプラットフォーム(Learning Management System:LMS)名を記入してください。

コース基本情報の「提供モデル」で「ASP(フルオンライン)」、「ASP オンライン・オフライン」を選択した場合は任意で記載してください。

3 9 . 学習特徴

当該コンテンツで提供されている学習の特徴を記入してください。また「動画ストリーミング」と「音声」についてはコンテンツ内の有無を、特に「音声」に関しては、音声がなくとも学習が可能な場合は「推奨」を選択してください。

(6)備考

4 0 . コンテンツ情報...備考欄

3 1 . ～ 3 9 . の項目の補足説明、詳細情報の Web サイトの URL、問い合わせ窓口の連絡

先等を記入してください。

7.5 学習者サービス情報

この分類には学習者に対して行なうサービスの内容を定義します。本項目では学習者に対するサービスを、その内容から以下の3つに細分類しています。

- ・ 学習内容に関する質問受付

対象コースの学習内容に関する質問を受け付けるサービスです。

- ・ メンタリングサービス(学習動機付け)

学習者の進捗状況を見てメンターがアドバイスや励ましのメールを送ったり、学習者からの相談に乗ったり等、学習活動を支援するサービスです。

- ・ ヘルプデスク(操作方法等の質問受付)

コンピュータの操作方法等、直接学習の内容に関わらないもの、学習を進めていく上での質問を受け付けるサービスです。

本細分類の項目の内容と同様のサービスを、異なる名称、分類で提供している場合は、適当と思われる項目に適宜分類しご記入ください。

表示項目以外に必要、あるいはあると更に効果的、追加オプション等で実施するサービス「4.9. 学習者サービス情報・・・備考欄」に記入してください。特に情報の公開を希望しない場合は、項目欄等に「詳細はお問い合わせください」と記入してください。

(1)学習内容に関する質問受付

4.1. 有無

学習内容に関する質問の受け付けサービスの有無を選択してください。別途料金が発生する場合や、相談に応じて実施するサービスの場合は「オプションであり」を選択してください。

4.2. サービス内容

質問の受け付け方法（電話、e-mail 等）、受付回数の制限、受付時間、回答までの時間、回答者の属性等について記入してください。

(2)メンタリングサービス(学習動機付け)

4.3. 有無

学習者のやる気を持続させるようなメンタリングサービスの有無を選択してください。別途料金が発生する場合や、相談に応じて実施するサービスの場合は「オプションであり」を選択してください。

4.4. サービス内容

メンタリングサービスの内容、コミュニケーション手段（電話、e-mail 等）、頻度、メンターの属性などを記入してください。

(3)ヘルプデスク(操作方法等の質問受付)

4 5 . 有無

コンピュータの操作方法などに関する質問を受け付けるヘルプデスクの有無を選択してください。別途料金が発生する場合や、相談に応じて実施するサービスの場合は「オプションであり」を選択してください。

4 6 . サービス内容

質問の受け付け方法（電話、e-mail 等）、受付回数の制限、受付時間、回答までの時間等を記入してください。

(4)その他学習者サービス

4 7 . 掲示板

学習者間、学習者と指導者間のコミュニケーションツールの有無を選択してください。追加オプションで実施するサービスの場合は「オプションであり」を選択してください。

4 8 . 受付(終了後)アフタケア

学習修了後の復習環境の提供、質問の受け付けといったアフタケアの有無を選択してください。追加オプションで実施するサービスの場合は「オプションであり」を選択してください。

(5)備考

4 9 . 学習者サービス情報・・・備考欄

4 1 . ～ 4 8 . の項目の補足説明、詳細情報の Web サイトの URL、問い合わせ窓口の連絡先等を記入してください。

8 .最後に

『WBT コースカタログ表示ガイド』いかがでしたでしょうか?このガイドは 2001 年度先進学習基盤協議会の e-Learning 評価項目検討ワーキンググループに集ったボランティアの手で作成されたものを、2002 年度 WBT コース表示項目検討委員会にて、様々な立場の人のご意見を反映させて改訂したものです。

冒頭にも書いたとおり、このガイドはコースの「善し悪し」は判別するものではありません。教育事業者の皆様が、WBT コースの最低限の品質情報を公開することで、ユーザがより安心して WBT コースを選択することが可能になります。これが WBT コースの流通促進、高品質化、さらに e ラーニング全体の普及につながれば、検討メンバーにとってこれに勝るよろこびはございません。

今回作成した『WBT コースカタログ表示ガイド』は、e ラーニング品質表示の基盤作りの「第一歩」です。教育事業者の皆様、さらにユーザの皆様からのご意見をもとに、さらに良いものにしていきたいと考えております。ご意見、ご感想等がございましたら、ぜひ ALIC 事務局までアドバイスいただければ幸いです。

WBT コースカタログ表示ガイド
Version 2.0

2002 年 6 月 25 日 Ver.1.0 作成

2003 年 3 月 31 日 Ver.2.0 改定

著者：先進学習基盤協議会 コンテンツ部会
e-Learning 評価項目検討ワーキンググループ
contact@alic.gr.jp
<http://www.alic.gr.jp/>

改定：WBT コース表示項目検討委員会

本書を無断複写複製(コピー)すると著作権者の権利侵害となります。